

pStage I期 非扁平上皮非小細胞肺癌外科切除例の術後再発を予測する分子マーカーの探索（多施設後ろ向きバイオマーカー研究）に関する研究

1. 研究の対象

- 近畿大学病院呼吸器外科で肺癌に対する外科切除を受けられた患者様のうち、「胸部腫瘍における個別化医療を目的とした試料解析研究（24-071）」に参加し病理病期I期と判断された肺腺がんの方、あるいは
- 国立がん研究センター中央病院呼吸器外科で2000年1月1日から2017年12月31日までの期間に肺癌に対する外科切除を受けられた患者様のうち、病理病期I期と判断された肺腺がんの方

2. 研究目的・方法

研究目的：この研究では、「外科的切除を受けたI期の肺癌患者様のうち、再発リスクの高い集団を同定するバイオマーカーを探索すること」を主な目的としています。

研究方法：肺癌に対する外科切除を受けられた患者様のうち、病理病期I期と判断された肺腺がんの方の試料、情報を使用します。近畿大学病院呼吸器外科で手術を受けられた方については、山形大学医学部附属病院で試料解析が実施されます。

研究実施期間：研究許可日～2025年2月28日

本研究はアストラゼネカ社からの資金援助を受けている委受託研究です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：手術時年齢、性別、診断名、喫煙歴、治療方法、病理所見、予後に関する情報等

試料：手術で摘出した組織等

4. 外部への試料・情報の提供

研究事務局への情報の提供は、患者様個人が特定されないように匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。近畿大学病院呼吸器外科で手術を受けられた方については、試料を山形大学医学部附属病院に提供し解析実施します。また、本研究に関するデータをアストラゼネカ株式会社へ開示する可能性があります（個人を特定しうる情報の提供は行いません）。二次利用を行う場合には、倫理委員会における審査及び承認後、機関の

長による実施の許可を得た上で利用します。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、対応表は研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

近畿大学病院呼吸器外科 須田健一(研究代表者)

国立がん研究センター中央病院呼吸器外科 吉田幸弘(研究責任者)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院呼吸器外科 吉田幸弘

近畿大学病院呼吸器外科 須田健一